

---

## 第1章 地産地消率の算出

---

## 第1章 地産地消率の算出

### 地産地消率の算出にあたって

自分たちの地域の地産地消の実態を把握し、その姿を定量的に表すことで、生産、流通、消費の各方面から、共通の認識・目安を持って、今後の地産地消を推進していくことが、今回の地産地消率の算出の目指すところである。

地産地消とは、「その地域で生産されたものをその地域で消費する」ことである。しかし一概に地産地消といつても、消費者側から見れば、「自分たちが消費している食材のうち、どれくらい地元で生産されたものが含まれているか」という視点になる。これを定量化することで、「私の家は、一般的に見て地元産の消費が低い／高い」という目安になり、今後の消費行動の指針となろう。

生産者側から見れば、自分が生産したものが自分の地域でどれくらい消費されているか、地域全体でいうと、「地域で生産された産物がどれだけ地元向けに出荷・消費されているか」という視点になる。これを定量化することで、平均的にどの品目がどれくらい地元向けに出荷・消費される余地があるのか。生産者個人に引き寄せてみれば、今後どれくらい地元向けに生産できるのか、地域外にどれくらい振り向けなければいけないかなど、今後の生産計画の方針が立つのである。

地域への全供給量に対する地域の生産量の割合を示すものとして、農林水産省が公表している都道府県別の食料自給率があるが、これは県外向けに出荷・消費される生産物も、県内で出荷・消費されている生産物も全て対象となるため、地域の生産能力（潜在能力）を示す指標にはなるが、地産地消の実態を示してはいない。仮に、大都市の近接県で大量の野菜を生産し、このほとんどを大都市に出荷しているケースを考えると、当該県の食料自給率は、（当該県の野菜生産量）／（当該県に対する野菜の全供給量）となるので、何百%と示されるが、その野菜を地域の住民が食しているとは限らないのである。

また、今回の調査を進めている中で、いわゆる量販店での購入に代表される金銭を対価とする購入とは別に、家庭菜園や知人への「おこそ分け」の存在が明らかになってきた。生産と消費は別と考えてきたこれまでの地産地消の概念にはない取引である。しかもこの量がかなり多いことから、これを正確に捉えることは、地産地消の把握に重要な要素となってくるのである。

そこで、今回、地産地消率の算出にあたっては、消費、流通、生産のそれぞれの実態を示すため、3つの算式を行った。この算式については、平成13年度に中国四国農政局が発行した「中国四国食料・農業・農村情勢報告」に示している地産地消の状況分析の考え方を参考にさせていただいた。

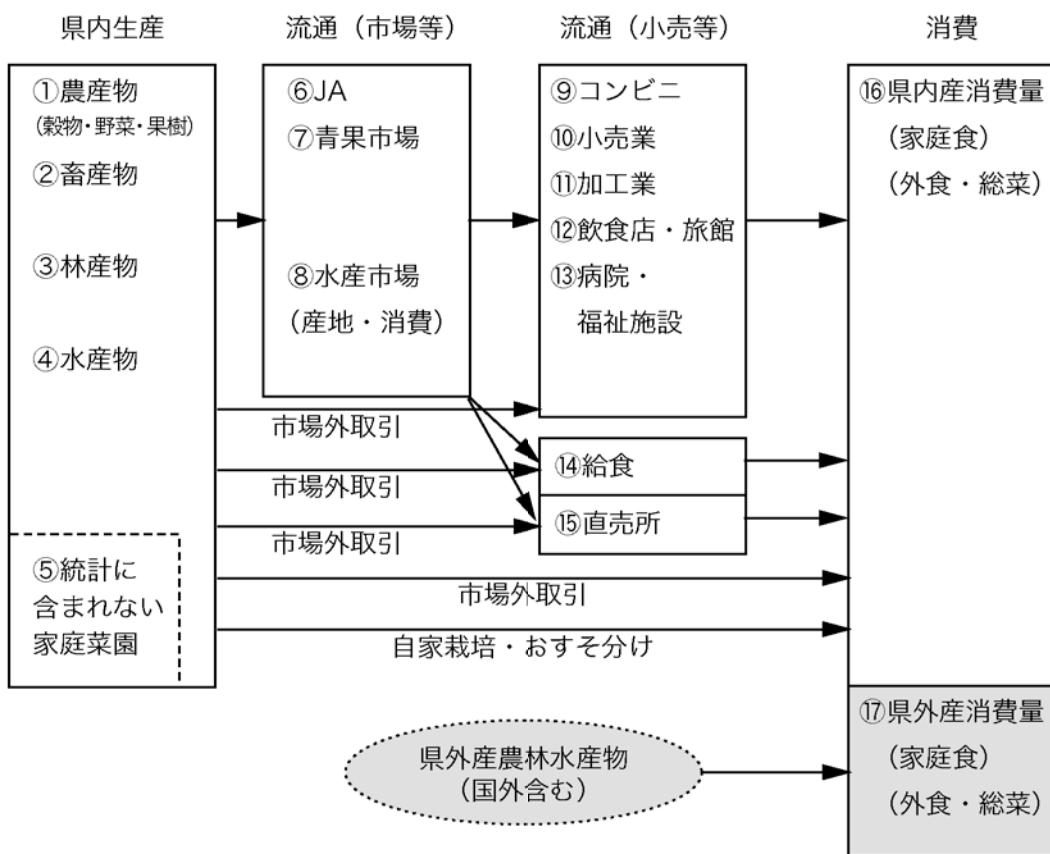
また、農林水産物の流通経路は近年、複雑多岐にわたっている。そこで、小売店や飲食店などの各流通段階でどれくらい地産地消が進んでいるかを示すことで、今後の流通業者の行動の目安となることから、業種別の調査結果もまとめて表した。

なお、地産地消の地元を表す地域については、「福井県内」とした。

品目については、米、麦、大豆、そばのほか、本県で主に生産されている野菜類、果実類、林産物、畜産物、水産物の計60品目とした。

※「自産自消」…家庭菜園やおこそ分けなど、購入以外による農林水産物の入手について、福井県立大学の祖田学長の言葉をお借りして「自産自消」と称する。地産地消の一行動様式として、相当量あると考えられることから、これを特に位置づけた。

## [ 県内産品の流れ ]



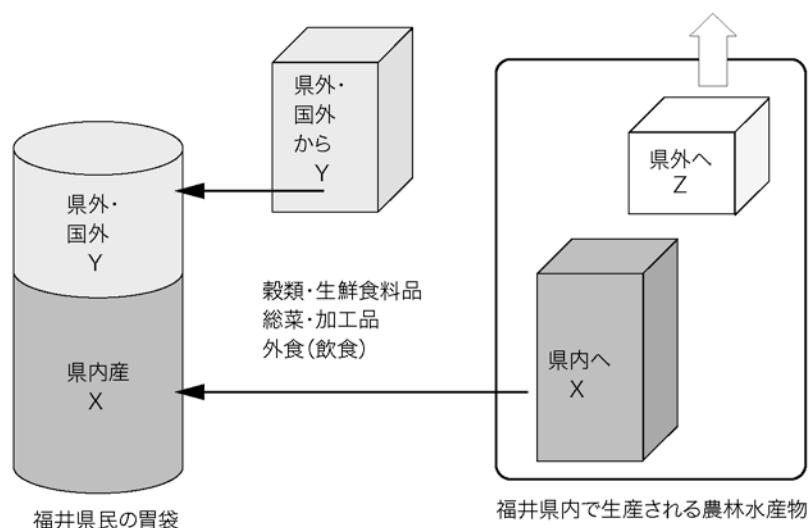
※県産農林水産物が県外に出荷されるルートは省略し、県外産農林水産物が消費されるまでのルートは簡略化している  
※次ページ以降の①～⑰は上の図中の番号と同じ部分を表す

## ●地産地消率と都道府県別食料自給率の違い

地産地消率は、県内に供給されている県内産品のみを分子とするが、都道府県別食料自給率は県外に出荷している県内産品を含めた総生産量を分子とする。

$$\text{地産地消率} = \frac{X}{X+Y}$$

$$\text{都道府県別食料自給率} = \frac{X+Z}{X+Y}$$



## (1)消費・地産地消率

消費面から「消費している食材のうちどれくらい県内産品が含まれているか」を表す。

$$(県内産消費量 / 県内総消費仕向量) = \frac{\textcircled{16}}{\textcircled{16} + \textcircled{17}}$$

⑯および⑰の算出は、県内28地区の1,400世帯を対象に調査を実施し、消費仕向量を重量ベースで算出した。摂取している外食や総菜についても、国民健康栄養調査(厚生労働省)の食品番号表および五訂増補食品成分表等を参照して原材料ベースに換算し、市場や流通加工業者への調査による産地別割合により算出した。また、休日平日では行動パターンが異なるとの想定から、平日休日の計2日合計で算出した。調査は8月、10月、12月の3回実施した。

その結果、福井県の消費・地産地消率は次のとおりとなった(品目ごとは次ページ)。

<b>8月で</b>	<b>59.2%</b>	(米を除くと52.2%)
<b>10月で</b>	<b>57.0%</b>	(米を除くと49.7%)
<b>12月で</b>	<b>59.4%</b>	(米を除くと53.0%)
<b>3期平均</b>	<b>58.6%</b>	(米を除くと51.7%)

重量ベースの消費・地産地消率は、実に食卓のおよそ6割、米を除いてもおよそ5割が県内産品でまかなわれているという結果であった。

また、都道府県別食料自給率との比較という点で、カロリーおよび金額での換算も試みた。当該60品目の都道府県別食料自給率を仮にカロリーベースで計算した結果(合計98.0%、米を除くと12.5%)と比較すると、米を含めると生産力の6割以上となり、米を除くと生産力を超える数値となった。

このような高い数値が回答された背景には、後ほど流通・地産地消率の項でも述べるが、統計上考慮されない家庭菜園等の割合が本県では非常に大きいこと、また農林水産物の収穫が多い8~12月期の調査であり、ダイコンやハクサイなど重量のある野菜が多く採れる時期であったことなどが影響していると思われる。

なお、福井中央卸売市場の平成21年統計によると、県内産品の市場での取扱い率が、調査対象期間の8~12月の平均では野菜で22%、果実で13%、水産物で11%であるのに対し、1月~7月の平均では野菜で14%、果実で16%、水産物で16%となっている。調査結果では、野菜の消費重量が果実や水産物に比べて大きいため、年間で考えると、消費・地産地消率は下がると思われる。

なお、年間換算や県内総世帯分への推計に関しては、今回無作為抽出した地域で大規模専業農家が含まれるか否かにより農作物の生産・消費が大きく異なること、また、調査が平日休日の各1日単位と限定的なため、これを単純に年間換算することは、誤差が大きくなりすぎると考えられる。

## ○消費・地産地消率(重量ベース)

ジャンル	No	品目	8月	10月	12月	3期平均
穀物		項目計	87.2%	84.9%	86.5%	86.2%
	1	米	91.9%	90.6%	91.9%	91.5%
	2	麦	10.8%	10.3%	10.6%	10.5%
	3	大豆	42.1%	46.6%	57.3%	50.1%
	4	そば	52.2%	57.4%	56.4%	55.6%
野菜		項目計	73.4%	68.2%	77.5%	73.3%
	5	だいこん	57.9%	75.9%	95.7%	85.0%
	6	にんじん	51.6%	52.0%	66.0%	57.0%
	7	はくさい	45.1%	65.5%	94.0%	84.6%
	8	キャベツ	44.3%	50.6%	65.2%	53.7%
	9	ほうれんそう	85.3%	84.5%	81.8%	83.9%
	10	ねぎ	79.3%	84.9%	87.9%	84.5%
	11	なす	91.3%	85.3%	41.2%	88.5%
	12	トマト	81.1%	65.8%	45.0%	68.8%
	13	きゅうり	86.8%	65.6%	48.9%	74.3%
	14	ピーマン	87.0%	79.2%	43.8%	80.0%
	15	ぱれいしょ	76.8%	70.0%	60.7%	69.9%
	16	さといも	83.6%	93.0%	97.6%	93.5%
	17	たまねぎ	78.4%	67.8%	63.7%	71.0%
	18	すいか	85.6%	56.4%	99.8%	84.4%
	19	メロン	62.5%	60.7%	33.8%	54.4%
	20	らっきょう	91.3%	98.1%	82.8%	90.0%
	21	かぶ	48.7%	93.4%	96.5%	94.2%
	22	ごぼう	28.2%	37.4%	39.1%	35.7%
	23	ブロッコリー	45.9%	44.2%	75.1%	59.0%
	24	レタス	37.1%	35.4%	45.7%	38.9%
	25	かぼちゃ	87.9%	75.6%	54.2%	80.0%
	26	スイートコーン	36.3%	19.4%	5.4%	25.7%
	27	さやいんげん	63.7%	67.1%	41.0%	60.4%
	28	さやえんどう	25.6%	23.3%	25.0%	24.7%
	29	えだまめ	89.7%	9.2%	0.0%	53.2%
果物		項目計	54.5%	54.9%	38.5%	49.2%
	30	梅	67.6%	32.7%	45.3%	52.0%
	31	柿	53.8%	74.5%	71.1%	73.2%
	32	梨	68.7%	61.4%	44.9%	66.7%
	33	みかん	9.3%	17.4%	22.3%	20.5%
	34	ぶどう	11.1%	8.4%	0.8%	9.7%
	35	もも	16.0%	2.9%	0.0%	14.5%
	36	くり	59.9%	71.8%	0.0%	54.4%
	37	キウイ	15.4%	22.4%	64.4%	46.3%
畜産物		項目計	39.0%	36.3%	35.5%	36.9%
	38	牛肉	22.2%	17.2%	17.4%	18.9%
	39	豚肉	13.6%	14.1%	12.2%	13.3%
	40	鶏肉	18.5%	12.2%	11.6%	14.0%
	41	牛乳	42.2%	39.4%	38.1%	40.0%
	42	鶏卵	80.9%	79.6%	80.3%	80.3%
林産物		項目計	39.9%	47.3%	36.4%	41.0%
	43	しいたけ	48.5%	58.3%	54.8%	54.3%
	44	なめこ	29.4%	45.2%	45.8%	42.5%
	45	ひらたけ	24.8%	27.9%	17.4%	22.4%
	46	えのき	49.6%	52.8%	37.3%	46.3%
水産物		項目計	45.5%	45.5%	41.3%	44.2%
	47	あじ類	63.0%	63.5%	66.3%	64.0%
	48	ぶり類	37.3%	39.0%	28.0%	34.1%
	49	かれい類	64.6%	69.1%	77.3%	70.9%
	50	さわら類	17.6%	55.7%	33.9%	37.6%
	51	さば類	46.0%	40.7%	36.6%	42.0%
	52	するめいか	27.5%	34.1%	29.2%	29.1%
	53	いか類	65.3%	52.2%	49.0%	57.8%
	54	えび類	23.1%	29.5%	19.4%	24.1%
	55	とびうお	88.0%	84.4%	84.4%	85.8%
	56	貝	24.5%	25.1%	11.8%	19.9%
	57	はたはた	72.6%	55.3%	48.9%	62.4%
	58	たい類	60.2%	62.9%	60.9%	61.3%
	59	ずわいがに	16.9%	10.1%	53.4%	48.7%
	60	ふぐ類	0.0%	66.7%	42.9%	59.6%
		その他	35.8%	37.0%	34.9%	35.9%
		合計	59.2%	57.0%	59.4%	58.6%
		米以外	52.2%	49.7%	53.0%	51.7%

## ○消費・地産地消率(カロリー換算)

都道府県別食料自給率と同様、食品成分表および食料需給表によりカロリー換算した。なお、畜産の飼料については、食料需給表の国内飼料表により国内純飼料を25%として算出した。

カロリーベースの消費・地産地消率は、3期平均で66.9%（米を除くと32.2%）である。

ジャンル	No	品目	100gあたり kcal	8月	10月	12月	3期平均
穀物		項目計		87.2%	84.9%	86.5%	86.2%
	1	米	356.0	91.9%	90.6%	91.9%	91.5%
	2	麦	354.0	10.8%	10.3%	10.6%	10.5%
	3	大豆	426.7	42.1%	46.6%	57.3%	50.1%
	4	そば	361.0	52.2%	57.4%	56.4%	55.6%
野菜		項目計		75.5%	68.3%	70.7%	71.8%
	5	だいこん	18.0	57.9%	75.9%	95.7%	85.0%
	6	にんじん	37.0	51.6%	52.0%	66.0%	57.0%
	7	はくさい	14.0	45.1%	65.5%	94.0%	84.6%
	8	キャベツ	23.0	44.3%	50.6%	65.2%	53.7%
	9	ほうれんそう	20.0	85.3%	84.5%	81.8%	83.9%
	10	ねぎ	31.0	79.3%	84.9%	87.9%	84.5%
	11	なす	22.0	91.3%	85.3%	41.2%	88.5%
	12	トマト	19.0	81.1%	65.8%	45.0%	68.8%
	13	きゅうり	14.0	86.8%	65.6%	48.9%	74.3%
	14	ピーマン	22.0	87.0%	79.2%	43.8%	80.0%
	15	ばれいしょ	76.0	76.8%	70.0%	60.7%	69.9%
	16	さといも	58.0	83.6%	93.0%	97.6%	93.5%
	17	たまねぎ	37.0	78.4%	67.8%	63.7%	71.0%
	18	すいか	37.0	85.6%	56.4%	99.8%	84.4%
	19	メロン	42.0	62.5%	60.7%	33.8%	54.4%
	20	らっきょう	118.0	91.3%	98.1%	82.8%	90.0%
	21	かぶ	20.0	48.7%	93.4%	96.5%	94.2%
	22	ごぼう	65.0	28.2%	37.4%	39.1%	35.7%
	23	ブロッコリー	33.0	45.9%	44.2%	75.1%	59.0%
	24	レタス	12.0	37.1%	35.4%	45.7%	38.9%
	25	かばちゃ	91.0	87.9%	75.6%	54.2%	80.0%
	26	スイートコーン	92.0	36.3%	19.4%	5.4%	25.7%
	27	さやいんげん	23.0	63.7%	67.1%	41.0%	60.4%
	28	さやえんどう	36.0	25.6%	23.3%	25.0%	24.7%
	29	えだまめ	135.0	89.7%	9.2%	0.0%	53.2%
果物		項目計		52.4%	57.8%	41.0%	50.5%
	30	梅	28.0	67.6%	32.7%	45.3%	52.0%
	31	柿	60.0	53.8%	74.5%	71.1%	73.2%
	32	梨	43.0	68.7%	61.4%	44.9%	66.7%
	33	みかん	44.0	9.3%	17.4%	22.3%	20.5%
	34	ぶどう	59.0	11.1%	8.4%	0.8%	9.7%
	35	もも	40.0	16.0%	2.9%	0.0%	14.5%
	36	ぐり	164.0	59.9%	71.8%	0.0%	54.4%
	37	キウイ	53.0	15.4%	22.4%	64.4%	46.3%
畜産物		項目計		8.5%	7.8%	7.7%	8.0%
	38	牛肉	280.8	5.6%	4.3%	4.3%	4.7%
	39	豚肉	228.3	3.4%	3.5%	3.1%	3.3%
	40	鶏肉	162.7	4.6%	3.1%	2.9%	3.5%
	41	牛乳	64.0	10.6%	9.9%	9.5%	10.0%
	42	鶏卵	151.0	20.2%	19.9%	20.1%	20.1%
林産物		項目計		40.2%	47.3%	35.8%	40.8%
	43	しいたけ	18.0	48.5%	58.3%	54.8%	54.3%
	44	なめこ	15.0	29.4%	45.2%	45.8%	42.5%
	45	ひらたけ	20.0	24.8%	27.9%	17.4%	22.4%
	46	えのき	22.0	49.6%	52.8%	37.3%	46.3%
水産物		項目計		45.2%	44.4%	38.5%	42.9%
	47	あじ類	121.0	63.0%	63.5%	66.3%	64.0%
	48	ぶり類	257.0	37.3%	39.0%	28.0%	34.1%
	49	かれい類	95.0	64.6%	69.1%	77.3%	70.9%
	50	さわら類	177.0	17.6%	55.7%	33.9%	37.6%
	51	さば類	202.0	46.0%	40.7%	36.6%	42.0%
	52	するめいか	88.0	27.5%	34.1%	29.2%	29.1%
	53	いか類	81.6	65.3%	52.2%	49.0%	57.8%
	54	えび類	89.6	23.1%	29.5%	19.4%	24.1%
	55	とびうお	96.0	88.0%	84.4%	84.4%	85.8%
	56	貝	144.3	24.5%	25.1%	11.8%	19.9%
	57	はたはた	113.0	72.6%	55.3%	48.9%	62.4%
	58	たい類	168.0	60.2%	62.9%	60.9%	61.3%
	59	ずわいがに	63.0	16.9%	10.1%	53.4%	48.7%
	60	ふぐ類	85.0	66.7%	42.9%	59.6%	
		合計		68.6%	65.7%	66.3%	66.9%
		米以外		35.3%	30.6%	30.7%	32.2%

## ○消費・地産地消率(金額換算)

都道府県別食料自給率と同様、平成19年生産農業所得統計および漁業・養殖業生産統計年報の生産額で換算した(全国平均を使用しており、地域差は考慮していない)。畜産の飼料については、食料需給表の国内飼料表により国内純飼料を25%として算出した。

ジャンル	No	品目	1kgあたり (円)	8月	10月	12月	3期平均
穀物		項目計		89.9%	88.2%	89.7%	89.3%
	1	米	205.5	91.9%	90.6%	91.9%	91.5%
	2	麦	66.3	10.8%	10.3%	10.6%	10.5%
	3	大豆	192.2	42.1%	46.6%	57.3%	50.1%
	4	そば	263.6	52.2%	57.4%	56.4%	55.6%
野菜		項目計	166.8	73.4%	68.2%	77.5%	73.3%
	5	だいこん					
	6	にんじん					
	7	はくさい					
	8	キャベツ					
	9	ほうれんそう					
	10	ねぎ					
	11	なす					
	12	トマト					
	13	きゅうり					
	14	ピーマン					
	15	ばれいしょ					
	16	さといも					
	17	たまねぎ					
	18	すいか					
	19	メロン					
	20	らっきょう					
	21	かぶ					
	22	ごぼう					
	23	ブロッコリー					
	24	レタス					
	25	かぼちゃ					
	26	スイートコーン					
	27	さやいんげん					
	28	さやえんどう					
	29	えだまめ					
果物		項目計	219.4	54.5%	54.9%	38.5%	49.2%
	30	梅					
	31	柿					
	32	梨					
	33	みかん					
	34	ぶどう					
	35	もも					
	36	くり					
	37	キウイ					
畜産物		項目計		7.0%	24.9%	24.3%	25.7%
	38	牛肉	944.8	5.6%	17.2%	17.4%	18.9%
	39	豚肉	420.0	3.4%	14.1%	12.2%	13.3%
	40	鶏肉	200.9	4.6%	12.2%	11.6%	14.0%
	41	牛乳	79.3	10.6%	39.4%	38.1%	40.0%
	42	雞卵	155.4	20.2%	79.6%	80.3%	80.3%
林産物		項目計	471.3	39.9%	47.3%	36.4%	41.0%
	43	しいたけ					
	44	なめこ					
	45	ひらたけ					
	46	えのき					
水産物		項目計	280.1	45.5%	45.5%	41.3%	44.2%
	47	あじ類					
	48	ぶり類					
	49	かれい類					
	50	さわら類					
	51	さば類					
	52	するめいか					
	53	いか類					
	54	えび類					
	55	とびうお					
	56	貝					
	57	はたはた					
	58	たい類					
	59	ずわいがに					
	60	ふぐ類					
		合計		57.7%	59.3%	62.0%	59.7%
		米以外		46.8%	49.3%	53.4%	49.9%

食料需給表に準じて、  
項目計で簡易的に算出食料需給表に準じて、  
項目計で簡易的に算出食料需給表に準じて、  
項目計で簡易的に算出

## (2) 生産・地産地消率

生産面から、「県内の総生産量のうち、どれくらい県内向けに出荷・消費されているか」を表す。

**県内向け供給量／総県内生産量＝**

$$\frac{(①+②+③+④+⑤)}{①+②+③+④+⑤} - \frac{(⑥+⑦+⑧)の県外出荷量}{(⑥+⑦+⑧)の県外出荷量}$$

①～④については、平成19～20年福井農林水産統計年報(福井農林統計協会)

平成19年福井県漁業の動き(福井県統計協会)

平成19年野菜生産出荷統計(農林水産省大臣官房統計部)

平成16年果樹生産出荷統計(農林水産省大臣官房統計部)

平成20年特用林産基礎資料(林野庁) の各県内生産量とした。

⑤については、本調査において1,400世帯(回答率92.1%)を対象とした農業(家庭菜園を含む)アンケートにおいて、年間生産量の回答があったうち、統計資料に参入されない1アール未満の土地で家庭菜園を行っている量を算出し、そこからJA等への出荷を除いた量を、県内全世帯(274,817世帯 平成20年10月1日現在)に換算して求めた。

⑥、⑦、⑧の県外出荷量については、それぞれに対する調査において、仕入れ量のうち県内産品取扱量から県内向け出荷量(割合)を差し引いた値とする。

⑧の水産市場(産地)については、仲買人調査の(100%－県内向け出荷割合)を県外向け出荷割合とみなし、県内漁獲高に仲買人の県外向け出荷割合を乗じて算出した。

ただし、⑥⑦⑧以外の個人取引(インターネット含む)や「おすそ分け」による県外への出荷は、ごく少量とみなして、県外出荷量に算入していない。

この結果、生産・地産地消率は、平成20年で67.4%(米を除くと68.5%)となった。

項目別に見てみると、「野菜」「果物」「畜産」「林産」については、生産・地産地消率が約80～90%となっており、県外向け出荷がほとんどないことが分かる。これは、地産地消としては高い比率を示す一方で、省内需要分の生産しか行っていないということが言える。

逆に、「水産物」に関しては、生産・地産地消率が22.2%ということで、ほとんどが県外向けに出荷されている現状が分かる。今後、地産地消を推進し、県内向け出荷を伸ばすことで、県内水産業の全体としてさらなる需要増・活性化につなげることができると考えられる。



### (3) 流通・地産地消率

流通(市場経済)の面から、

「消費される県内産品のうち、どれくらい購入(市場経済)で得ているか

また、どれくらい自産自消(家庭菜園・おぼそ分け=非市場経済)で得ているか」を表す。

つまり、地産地消を進める際に、市場経済と非市場経済がどれくらいのウエイトを占めているかを表すことによって、どこに推進のポイントを置いたらよいかを探る指標となる。

**県内産品の消費に占める購入（市場経済）の比率＝**

$$\frac{\text{⑨} + \text{⑩} + \text{⑪} + \text{⑫} + \text{⑬} + \text{⑭} + \text{⑮}}{\text{⑯}}$$

**県内産品の消費に占める自産自消（非市場経済）の比率＝**

$$\frac{\text{自家菜園} + \text{おぼそ分け}}{\text{⑯}}$$

算出は、県内28地区の1,400世帯(平均回答率93.7%)を対象に調査を実施し、消費仕向量に対して、入手先を記入してもらった。摂取した外食や惣菜についても、可能な限り把握・推計した(米を含む)。

その結果、流通・地産地消率は、3期合計で、購入(市場経済)が53.8%、自産自消(非市場経済)が46.2%と算出された。

食材全体で見ると、スーパー・生協・農協などから購入による入手が、8月から12月で66.0~74.9%と大きな割合を占める一方で、自家栽培やおぼそ分けなど自産自消経由の入手が25.1~34.0%と実に3分の1近くの割合を占めていた。

さらに県内産の入手先=流通・地産地消率でみると、購入による入手が、8月から12月で47.4~59.1%なのに対し、自産自消経由の入手が40.9~52.6%と、ほぼ同じ割合を示すに至っている。

本県は、本調査で実施した農業(家庭菜園を含む)アンケートにおいても、全世帯の2割が農家でないにもかかわらず家庭菜園を行っていると答えており、専業と兼業の農家を合わせると全体の45%が何らかの自給的な農業を行っていることになる。また、本県は、家計調査においても家庭菜園から入手・消費した生産物が全国平均の2倍強と、家庭菜園が非常に盛んな地域であることを裏付けている。この結果を元に考えると、全国の都道府県においても、家庭での地産地消を考える際に、家庭菜園やおぼそ分けなど自産自消経由の量は決して無視できない。地産地消の実態をつかむためには、家庭菜園やおぼそ分けの量をきちんと把握しておく必要がある。

一方、家庭において、スーパー・生協・農協などのいわゆる量販店で、37.3~45.1%の県内産品を入手していると回答しているが、量販店からの回答では、店内の県内産品の扱いは仕入重量ベースで24.0%ということである。(※P17および第3章の調査結果を参照)

ここには、買い物をする際に消費者が正しく产地を認識していない(できない)要因があると思われる。この誤差について、店頭での県内産品の取扱量が量販店の回答どおり低く、ここからの供給量が少

ないと考えると、流通・地産地消率の自産自消経由の数値はさらに高くなる。つまり、県内産を入手する際は、より自産自消に寄るところが大きいと考えられる。

### ■消費世帯調査－3期合計(8～12月)

#### ■入手先と産地の別(合計・全体)

入手先別	県内		県外		国外		不明		合計		入手先別の構成比%
	計(g)	%	計(g)	%	計(g)	%	計(g)	%	計(g)	%	
スーパー	5,185,063	39.3	6,930,107	52.5	595,223	4.5	492,191	3.7	13,202,585	100.0	39.5
生協、農協	1,965,799	44.0	2,203,197	49.3	171,933	3.8	127,780	2.9	4,468,710	100.0	13.4
商店、専門店	796,012	50.1	650,473	41.0	83,440	5.3	58,002	3.7	1,587,928	100.0	4.7
直売所	543,290	81.9	108,788	16.4	4,698	0.7	6,185	0.9	662,962	100.0	2.0
コンビニ	16,894	4.0	383,118	91.1	9,263	2.2	11,306	2.7	420,580	100.0	1.3
飲食店	514,392	42.8	423,302	35.2	204,963	17.1	58,333	4.9	1,200,989	100.0	3.6
ホテル、旅館	25,277	73.2	7,052	20.4	1,681	4.9	510	1.5	34,520	100.0	0.1
学校給食	349,506	53.8	299,556	46.2	0	0.0	0	0.0	649,063	100.0	1.9
福祉施設	19,026	49.6	12,905	33.6	4,765	12.4	1,685	4.4	38,381	100.0	0.1
農家	738,615	84.9	101,386	11.7	8,926	1.0	21,306	2.4	870,233	100.0	2.6
その他	381,346	78.0	81,895	16.8	7,627	1.6	17,995	3.7	488,863	100.0	1.5
自家栽培	5,986,730	99.0	27,378	0.5	2,715	0.0	27,777	0.5	6,044,600	100.0	18.1
もらったもの	3,078,150	81.2	604,085	15.9	45,477	1.2	64,385	1.7	3,792,098	100.0	11.3
合計	19,600,101	58.6	11,833,243	35.4	1,140,712	3.4	887,455	2.7	33,461,511	100.0	

市場経済で70.6%

非市場経済で29.4%

入手先別	県内		市場経済で53.8%
	計(g)	%	
スーパー	5,185,063	26.5	
生協、農協	1,965,799	10.0	
商店、専門店	796,012	4.1	
直売所	543,290	2.8	
コンビニ	16,894	0.1	
飲食店	514,392	2.6	
ホテル、旅館	25,277	0.1	
学校給食	349,506	1.8	
福祉施設	19,026	0.1	
農家	738,615	3.8	
その他	381,346	1.9	
自家栽培	5,986,730	30.5	非市場経済で46.2%
もらったもの	3,078,150	15.7	
合計	19,600,101		



## ■消費世帯調査－冬(12月)

### ■入手先と産地の別(合計・全体)

入手先別	県内		県外		国外		不明		合計		入手先別の構成比%
	計(g)	%	計(g)	%	計(g)	%	計(g)	%	計(g)	%	
スーパー	1,536,608	37.3	2,278,567	55.2	174,280	4.2	135,557	3.3	4,125,011	100.0	36.6
生協、農協	594,666	41.7	737,945	51.7	51,206	3.6	43,202	3.0	1,427,020	100.0	12.6
商店、専門店	223,366	44.9	221,453	44.5	45,580	9.2	6,726	1.4	497,125	100.0	4.4
直売所	173,849	81.3	36,372	17.0	2,804	1.3	684	0.3	213,709	100.0	1.9
コンビニ	4,203	3.3	118,503	93.6	3,866	3.1	0	0.0	126,571	100.0	1.1
飲食店	164,685	41.7	140,194	35.5	70,210	17.8	19,643	5.0	394,732	100.0	3.5
ホテル、旅館	8,963	73.7	2,495	20.5	544	4.5	158	1.3	12,160	100.0	0.1
学校給食	115,850	53.8	99,294	46.2	0	0.0	0	0.0	215,144	100.0	1.9
福祉施設	6,831	49.9	4,675	34.2	1,567	11.5	607	4.4	13,679	100.0	0.1
農家	329,188	86.2	43,394	11.4	6,853	1.8	2,272	0.6	381,707	100.0	3.4
その他	19,629	58.0	10,139	29.9	3,972	11.7	129	0.4	33,868	100.0	0.3
自家栽培	2,302,383	99.4	12,114	0.5	2,373	0.1	25	0.0	2,316,895	100.0	20.5
もらったもの	1,224,115	80.4	264,286	17.4	26,894	1.8	7,881	0.5	1,523,175	100.0	13.5
合計	6,704,335	59.4	3,969,429	35.2	390,148	3.5	216,885	1.9	11,280,796	100.0	

市場経済で66.0%

非市場経済で34.0%

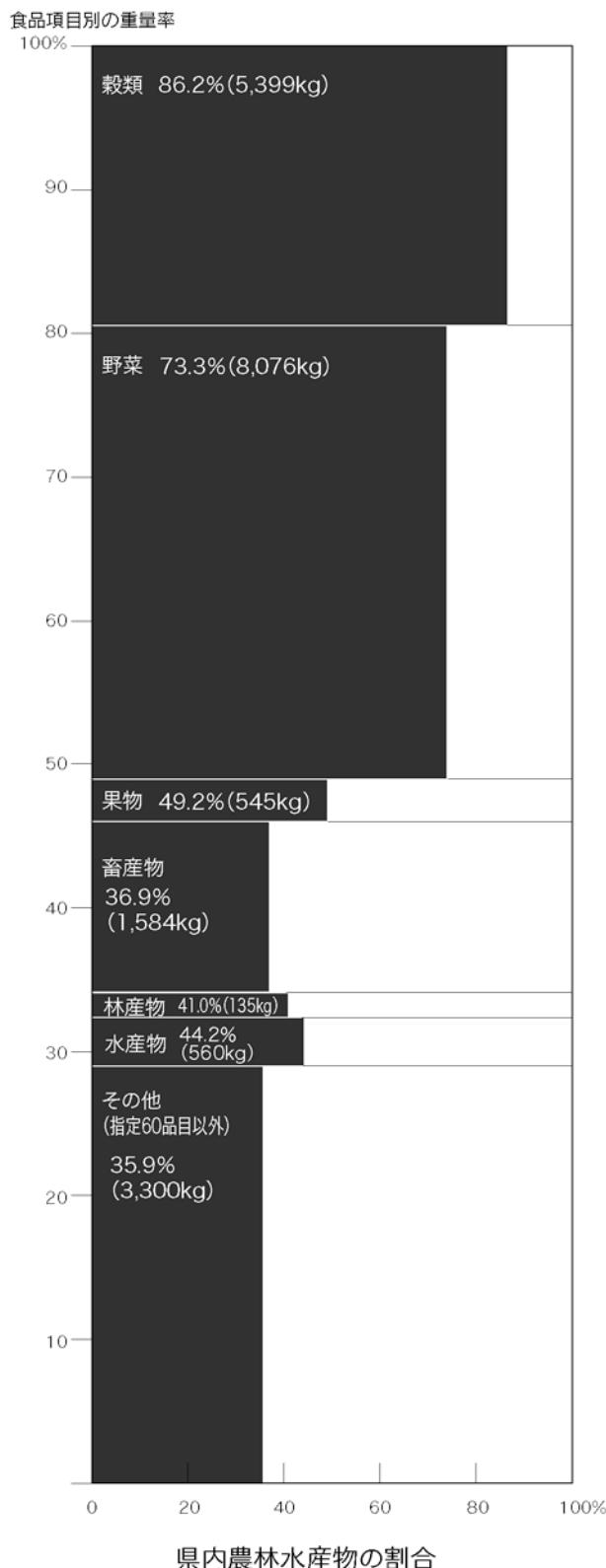
### ■入手先と産地の別(合計・県内産)

入手先別	県内		市場経済で47.4%
	計(g)	%	
スーパー	1,536,608	22.9	
生協、農協	594,666	8.9	
商店、専門店	223,366	3.3	
直売所	173,849	2.6	
コンビニ	4,203	0.1	
飲食店	164,685	2.5	
ホテル、旅館	8,963	0.1	
学校給食	115,850	1.7	
福祉施設	6,831	0.1	
農家	329,188	4.9	
その他	19,629	0.3	
自家栽培	2,302,383	34.3	非市場経済で52.6%
もらったもの	1,224,115	18.3	
合計	6,704,335		



(参考)家庭における県内産農林水産物の消費割合

●食品項目別に見た県内農林水産物の割合



●入手先別に見た県内農林水産物の割合

